



「新年度のご挨拶」

秋田県立秋田きらり支援学校
校長 新井 敏彦

この春より、秋田きらり支援学校の校長となりました新井敏彦（あらい としひこ）と申します。毎日が、新しい出会い、新しい出来事の連続で、とても楽しく、本当にうれしく思っております。どうぞよろしく願いいたします。

本校は、肢体不自由や病弱の児童生徒が学んでいる学校です。今年度、開校から14年目を迎えました。4月10日の入学式で27名の新入生を迎え、小学部43名、中学部25名、高等部28名の全校児童生徒96名、教職員150名で、令和5年度がスタートしました。

本校では、令和5年度から9年度までの新しい教育プランを作成しました。教育目標「児童生徒の多様な教育的ニーズに応じて、医療療育機関と連携した安全な教育環境のもとで、自立と社会参加に必要な力を育成する」を目指し、本年度の重点を次の4点としました。

- (1) 感染症対策や医療的ケア等、安全・安心な教育環境の整備
- (2) カリキュラムマネジメントの推進と児童生徒主体の授業改善
- (3) キャリア教育の充実と生涯学習につながる資質の育成
- (4) 病弱教育サポートセンターを含むセンター的機能の拡充

I C T等の教育機器や校内外の人材等を最大限活用しながら、様々な学習により豊かな体験を広げて、一人一人の子どもが「きらり」と輝く学校を目指します。

この3年間は新型コロナウイルスの影響で、教育活動に様々な制限がありましたが、今年度は感染症対策を徹底しながら、「かがやきの丘まつり」など地域交流や地域連携の活動を再開したいと考えております。また、本校の使命である県内唯一の肢体不自由教育校としての役割、病弱教育のセンター校としての役割の推進や、医療療育センターや視覚支援学校、聴覚支援学校と連携したセンター的機能を一層充実させてまいります。

地域の皆様、関係の皆様、保護者の皆様には、本校へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。